

3. ワークショップで挙げられた意見のまとめ

テーマ	ワークショップからの意見の方向性
1. 10代・20代が描く狛江のみらい	<ul style="list-style-type: none"> ① 多様な活動が出来る特徴ある公園やスポーツ施設が充実すると良い。 ② 駅周辺には、図書館などの文化施設や長時間いられる商業施設があると良い。 ③ 農地を大切に、枝豆を売り出し、市が有名になると良い。
2. 新たな日常生活の展開を見直そう	<ul style="list-style-type: none"> ① 多摩川や野川の環境を活かした憩い・交流の場があると良い。 ② 狛江駅周辺は高架下も活用し、散策しながら買い物出来る緑の多い場所になると良い。 ③ 街にとけこんだフリースペースやコワーキングスペースが多くあると良い。
3. 道路と交通環境の在り方、駅周辺整備を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ① 幹線道路である水道道路(都)や調 3・4・16 号線などの早期整備が図られると良い。 ② 喜多見駅の狛江市側改札口の復活や誰もが安全に通行できる街づくりが出来ると良い。 ③ 多摩川沿いも街なかも歩行者・自転車が安全に通行出来るようになると良い。
4. みんなに愛される公園・緑・農の風景づくり	<ul style="list-style-type: none"> ① ボール遊びなどもう少し自由に使え、農・食とも連携した小公園が身近にあると良い。 ② 緑のネットワークの核となり、防災・親水など多様な機能を持った大公園があると良い。 ③ 農地は農業生産のみならず、防災、環境保全、景観等、様々な面から大切にしたい。
5. 防災まちづくりを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ① マンションや農地を活用した共助による避難の仕組みや、建築のルール化が出来ると良い。 ② 道路の拡幅や排水設備、防災倉庫の整備等、必要なハード整備が図られると良い。 ③ 避難所のスペースの充実や助け合いによる運営体制が出来ると良い。
6. にぎわいとふれあいのある魅力ある拠点づくりを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ① 駅周辺はカフェや図書館などがあり、歩いて楽しめるオシャレな拠点になると良い。 ② 多摩川の環境を活かした交流・環境・防災・レクリエーションの拠点が出来ると良い。 ③ 農地の保全や農家カフェ・アンテナショップなどによる農の拠点があると良い。

